

長野技術専門校 照明設備改修工事

E-01	電気設備特記仕様書	A-01	改修特記仕様書
E-02	配置図	A-02	案内図・配置図
E-03	管理棟 電灯設備 1階平面図（撤去）	A-03	管理棟 平面図
E-04	管理棟 電灯設備 2階平面図（撤去）		
E-05	画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 電灯設備 平面図（撤去）		
E-06	電気工事科実習棟・寄宿舍棟 電灯設備 平面図（撤去）		
E-07	機械実習棟 電灯設備 平面図（撤去）		
E-08	付属棟 電灯設備 平面図（撤去）		
E-09	体育館棟 電灯設備 平面図（撤去）		
E-10	照明器具姿図・盤結線図		
E-11	管理棟 電灯設備 1階平面図（改修後）		
E-12	管理棟 電灯設備 2階平面図（改修後）		
E-13	画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 電灯設備 平面図（改修後）		
E-14	電気工事科実習棟・寄宿舍棟 電灯設備 平面図（改修後）		
E-15	機械実習棟 電灯設備 平面図（改修後）		
E-16	付属棟 電灯設備 平面図（改修後）		
E-17	体育館棟 電灯設備 平面図（改修後）		



長野県産業労働部

関建築とまち研究室

長野技術専門校 照明設備改修工事

1 工事概要

1 工事場所	長野市篠ノ井布施五明
--------	------------

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
管理棟	—	地上2階	—	7項	
画像処理印刷科・木造建築科実習室棟	—	地上1階	—	7項	
電気工事科実習棟	—	地上1階	—	7項	
機械実習棟	—	地上2階	—	7項	
受電室	—	地上1階	—	7項	
更衣室棟	—	地上1階	—	7項	
実習室	—	地上1階	—	7項	
屋外便所	—	地上1階	—	7項	
寄宿舎棟	—	地上2階	—	7項	
旧寄宿舎	—	地上2階	—	7項	
車庫棟	—	地上1階	—	7項	
危険物倉庫	—	地上1階	—	7項	
自転車・バイク置場	—	地上1階	—	7項	

3 工事種目

(○印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び種別											外構		
		管理棟	画像処理他	電気工事科	機械実習棟	受電室	更衣室棟	実習室	屋外便所	寄宿舎棟	旧寄宿舎	車庫棟		危険物倉庫	自転車置場
電灯設備		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
動力設備	幹線、分岐														
電熱設備															
蓄電設備															
受変電設備															
電力貯蔵設備															
静止形電源設備	直流電源装置														
発電設備	非常用発電														
発電設備	太陽光発電														
構内情報通信設備	LAN用配管														
構内交換設備	電話設備														
情報表示設備	時計設備														
映像音響設備															
拡声設備															
誘導支援設備	音声・TV/吹出														
テレビ共同受信設備															
監視カメラ設備															
駐車場管制設備															
防犯入室管理設備															
自動火災報知設備															
自動閉鎖設備															
非常警報設備															
ガス漏れ警報設備															
中央監視制御設備															
構内配電線路	外灯														○
構内通信線路															
撤去工事															

II 管理技術者等

設計事務所名	管理技術者
関連業+まち研究室	関係則
主任担当技術者	担当技術者
兼匠担当	
関連業+まち研究室 川上貴士	
構造設計	

積算担当	

電気設備担当	
たくしん電気設備設計 阿部一登	
機械設備担当	
片岡設計事務所 片岡 明	

III 工事仕様

1 共通仕様

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という。), 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「標準図」という。))による。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事を含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を採用する。
(参考図書：長野県建築工事の手引き (以下、「手引き」という。)(平成24年版) 長野県建設部施設課監修

2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。

- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
- 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項												
① 機械等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等なものとする場合は、監督職員の承認を受ける。												
② 機材の品質性能証明	下表に示す材料機材等(○印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督員の承認を受ける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料機材名</th> <th>材料機材名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>・</td><td>・ 電気錠</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>・</td></tr> <tr><td>・</td><td>○ その他、監督員の指示によるもの</td></tr> <tr><td>○</td><td>○ (注)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材</td></tr> </tbody> </table> </div> <ol style="list-style-type: none"> 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 安定的な供給が可能であること。 法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 	材料機材名	材料機材名	・	・ 電気錠	・	・	・	・	・	○ その他、監督員の指示によるもの	○	○ (注)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材
材料機材名	材料機材名												
・	・ 電気錠												
・	・												
・	・												
・	○ その他、監督員の指示によるもの												
○	○ (注)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材												
③ 化学物質を発生する建築材料等	<p>本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗料及びび類は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 保温材、断熱材はホルムアルデヒド及びビスチレンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 <p>なお、ホルムアルデヒドを放射しないものとは放射量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放射が極めて少ないものとは放射量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとする。</p> <p>ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。</p> <p>また、「ホルムアルデヒドの放射量」は、次のとおりとする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ホルムアルデヒドの放射量</th> <th>該当する建築材料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一種</td> <td>①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第7項4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用</td> </tr> <tr> <td>第二種</td> <td>①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第5項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE○規格品 ④旧JASのF○規格品</td> </tr> <tr> <td>第三種</td> <td>①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第5項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE○規格品 ④旧JASのF○規格品</td> </tr> </tbody> </table>	ホルムアルデヒドの放射量	該当する建築材料	第一種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第7項4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用	第二種	①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第5項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE○規格品 ④旧JASのF○規格品	第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第5項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE○規格品 ④旧JASのF○規格品				
ホルムアルデヒドの放射量	該当する建築材料												
第一種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第7項4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用												
第二種	①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第5項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE○規格品 ④旧JASのF○規格品												
第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第5項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE○規格品 ④旧JASのF○規格品												
4 施工条件明示項目	・公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「執務並行改修」												
④ 電気保安技術者	工事現場の電気工作物(電路、自動車、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。 (1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承認を受けること。												
⑤ 使用材料発注申請書	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した申請書を作成し提出する。												
⑥ 発生材の処理	(1)引渡しを要するもの ○無 ・有 () (2)引渡しを要するもの以外 ○無 ○積外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ○無 ・有 (PCB使用機器・関係法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。) (4)再利用又は再資源化を図るもの ・無 ○有 ○廃棄光質 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類) ○捨てない ・捨てる(規模： ・備品() すべて積荷者の負担とする。 構内に作るものが ○できる ・できない												
⑦ 足場さん構築	○別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○内部仮設足場等(・架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・) ・外部足場 (・A種 [施工箇所面に付設足場を設ける。] ・B種 [施工箇所面に単管木足場を設ける。] ・C種 [仮設ゴンドラを使用する。] ・D種 [移動式足場を使用する。])												
⑧ 工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は積荷者の負担とする。												

4 施工条件明示項目

④ 電気保安技術者

⑤ 電気工事士

⑦ 実施工程表及び施工計画書

⑤ 使用材料発注申請書

⑥ 発生材の処理

⑧ 監督員事務所

⑩ 工事用仮設物

⑫ 足場さん構築

⑬ 工事用電力・水・その他

⑬ 工事写真

⑭ しゅん工時提出物

⑮ 再使用機器

⑯ 耐震施工

⑰ あと施工アンカー

⑱ 防火区画等の貫通処理

⑳ 電線ケーブル

21 予備配管

22 呼び線

⑳ 金属製電線管の塗装

24 埋め戻し土

25 建設発生土の処理

26 ケーブル埋設票

② プルボックス

② フラッシュプレート

② プレートの用途表示

③ 配線器具

④ 機器への接続

⑤ 照度測定

33 盤類

④ グリーン購入の推進

⑤ 他工事又は他工種との取り合い

⑤ その他及び電子納品

37 その他

項目	特記事項																												
⑬ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。																												
⑭ しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。 取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。 設備機器の測定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」監修(独)建築研究所による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督職員に提出し承認を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。																												
⑮ 再使用機器	設計用標準水平地震度																												
⑯ 耐震施工	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">特定の施設</th> <th colspan="2">○一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上層階、屋上及び塔屋</td> <td>機 器 防振支持の機器 水槽類(※1)</td> <td>2.0 2.0 2.0</td> <td>1.5 2.0 1.5</td> <td>1.5 2.0 1.5</td> <td>1.0 1.5 1.0</td> </tr> <tr> <td>中間階</td> <td>機 器 防振支持の機器 水槽類(※1)</td> <td>1.5 1.5 1.5</td> <td>1.0 1.0 1.0</td> <td>1.0 1.0 1.0</td> <td>0.6 0.6 0.6</td> </tr> <tr> <td>地下・1階</td> <td>機 器 防振支持の機器 水槽類(※1)</td> <td>1.0 1.0 1.5</td> <td>0.6 1.0 1.0</td> <td>0.6 1.0 1.0</td> <td>0.4 0.6 0.6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※1) 水槽類にはオイルタンク等を含む。 ○重要機器の定義は次による。 ・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ○上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上層、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。</p>	設置場所	機器種別	特定の施設		○一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	機 器 防振支持の機器 水槽類(※1)	2.0 2.0 2.0	1.5 2.0 1.5	1.5 2.0 1.5	1.0 1.5 1.0	中間階	機 器 防振支持の機器 水槽類(※1)	1.5 1.5 1.5	1.0 1.0 1.0	1.0 1.0 1.0	0.6 0.6 0.6	地下・1階	機 器 防振支持の機器 水槽類(※1)	1.0 1.0 1.5	0.6 1.0 1.0	0.6 1.0 1.0	0.4 0.6 0.6
設置場所	機器種別			特定の施設		○一般の施設																							
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																								
上層階、屋上及び塔屋	機 器 防振支持の機器 水槽類(※1)	2.0 2.0 2.0	1.5 2.0 1.5	1.5 2.0 1.5	1.0 1.5 1.0																								
中間階	機 器 防振支持の機器 水槽類(※1)	1.5 1.5 1.5	1.0 1.0 1.0	1.0 1.0 1.0	0.6 0.6 0.6																								
地下・1階	機 器 防振支持の機器 水槽類(※1)	1.0 1.0 1.5	0.6 1.0 1.0	0.6 1.0 1.0	0.4 0.6 0.6																								
⑰ あと施工アンカー	公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)8章2節2.4及び12節による。 強度確認試験方法を施工計画書に記載し、監督員の承認を得た後に実施すること。																												
⑱ 防火区画等の貫通処理	電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所前面から写真撮影し、工事写真として提出する。 (1)EM-EFF は紫外線による劣化を抑制する性能を持たせ、「ゆかり」EM-EFF」と表記されたものを使用する。 (2)EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、絶縁材料及びシースに JIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。																												
⑳ 電線ケーブル	埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本5個以上の場合(25)を2本、天井まで立上げる。 長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2m以上のビニル被覆敷線を挿入する。 下記の露出配管は塗装を行う。 ○壁外 ・壁内() ・A種 [山砂の類：水締め、機器による締閉め] ・B種 [埋切り土の中の良質土：機器による締閉め] ・C種 [地現場の建設発生土の中の良質土：機器による締閉め] ・D種 [再生コンクリート砂：水締め、機器による締閉め]																												
21 予備配管	・場外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し (1) 地中経路には、ケーブル埋設票をもうける。 (敷製 ○コンクリート埋設) (2) 低圧地中配線にあっても地中埋設保護シートを敷設する。 (3) 配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中埋設保護シートは2枚以上敷設する。																												
22 呼び線	(1) 露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2) 露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。																												
⑳ 金属製電線管の塗装	図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 プルボックス、ジョイントボックス及び機器を塗装しないプレートには、用途を明示した総構をつける。																												
24 埋め戻し土	タンプラスチックは運用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として運用形とする。ただし、2口の場合は様式を・使用してよい。また(2P15A)以外はずべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。																												
25 建設発生土の処理	・測定場所： ○ 各室 (測定箇所数 5箇所) ○ 廊下 ○ 階段 用 途： ・ 非常用照明 ○ 一般照明																												
26 ケーブル埋設票	○ 学校施設における室内照度測定(測定教室： 個所、測定奥面： 個所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9ヶ所、黒板垂直面9ヶ所で測定する																												
② プルボックス	(1) 分電盤等の図面ホルダーに、単線経緯図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2) 端子盤には、線番表・経緯表を備え付ける。																												
② フラッシュプレート	長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・() <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(平成 年版)による。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議する。																												
② プレートの用途表示	保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。 (長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当納入札公告の添付図書) ・ 施工制約条件																												
③ 配線器具																													
④ 機器への接続																													
⑤ 照度測定																													
33 盤類																													
④ グリーン購入の推進																													
⑤ 他工事又は他工種との取り合い																													
⑤ その他及び電子納品																													
37 その他																													

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個別提出物	一括提出物
1 完成図	5 機構完成図
○ 原因 (A1版 ケース入り)	6 工事写真
○ 断面 (A1版 2つ折り製本 1冊)	7 完成写真
○ GADデータ(jw及びpdf形式)	8 工事記録 (打合せ簿、工事日報、協議書)
・	9 機材の試験成績書
・	10 施工の試験成績書
2 設計図	11 社内試験成績書
○ GADデータ	12 発生材処理報告書 (廃棄物処理実務書、運搬及び処理の委託契約書の写し、マニフェストの写し、フロー図)
3 引渡書	13 納入品一覽表
4 納入品	14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し)
○ 予備品 ○ 盤類の鍵 ・ ハンドホールフック、ジャッキ	15 保全に関する資料(取扱い説明書も含む)

3 ハンドホール

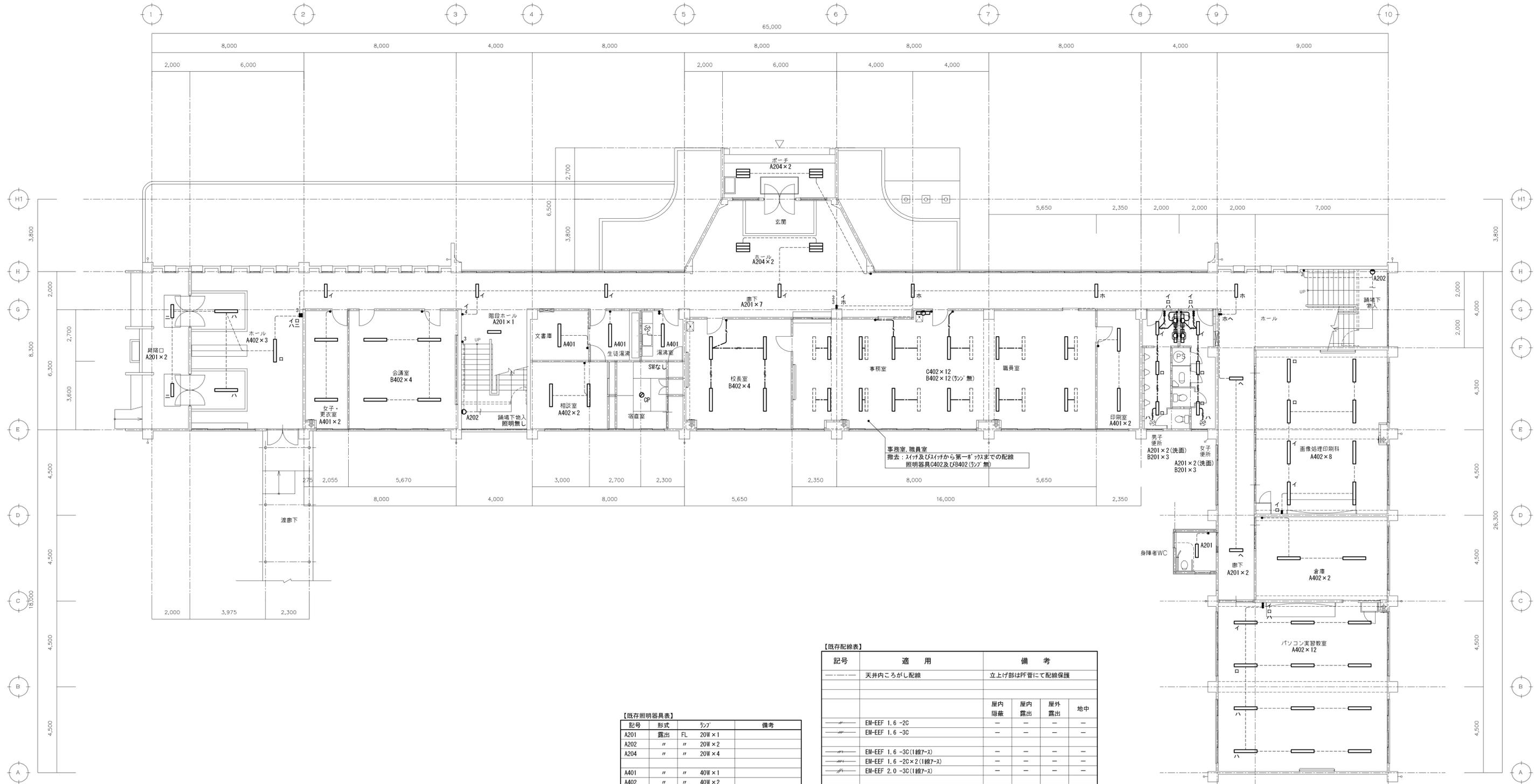
- 下表による。(様子とは各ハンドホールに設置する。差取外し用ジャッキを1組納入する。)
ブロックハンドホール (寸法内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
・ブロックの仕様は国土交通省仕様に基づくものとする。
・ハンドホールにフックアウト部分を設けてはならない。
・配管貫通部は、原則として規模がF18(F18以上)とし、差し筋10タテ×φ200で補強する。
・補強方法については、あらかじめ監督員にF18-F18製作図を提出して承認を受けて施工する。
上記による他は設計図による。

・	ハンドホール N。ー	1,500×1,500×1,500	差 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N。ー	1,200×1,200×1,500	差 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N。ー	1,000×1,000×1,400	差 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N。ー	1,000×1,000×1,000	差 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N。ー	1,000×1,000×900	差 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N。ー	900×900×1,100	差 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール N。ー1	900×900×900	差 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既設足場付)
・	ハンドホール N。ー	600×600×680	差 WPM-60A (Eマーク入)	(既設足場がない)
・	ハンドホール N。ー	450×450×680	差 WPM-45B (Eマーク入)	※横截帯等車両の通行の妨げがない場所、収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

・	A種接地	銅板1.5t×900×900 リード端子付 堀形埋戻中心深さ	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 2m 埋設標(黄銅製又はステンレス製)
・	B種接地	銅板1.5t×600×600 リード端子付 堀形埋戻中心深さ	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 2m



【既存照明器具表】

記号	形式	寸法	備考
A201	露出	FL 20W × 1	
A202	"	" 20W × 2	
A204	"	" 20W × 4	
A401	"	" 40W × 1	
A402	"	" 40W × 2	
B201	埋込	FL 20W × 1	
B202	"	" 20W × 2	
B401	"	" 40W × 1	
B402	"	" 40W × 2	
C201	吊下	FL 20W × 1	
C202	"	" 20W × 2	
C401	"	" 40W × 1	
C402	"	" 40W × 2	
DL	埋込	IL・FDL等	
CL	直付	IL・FDL等	
CP	吊下	IL・FCL等	
H400	吊下	HF400×1	昇降装置共

W: 防水型を示す

【既存配線表】

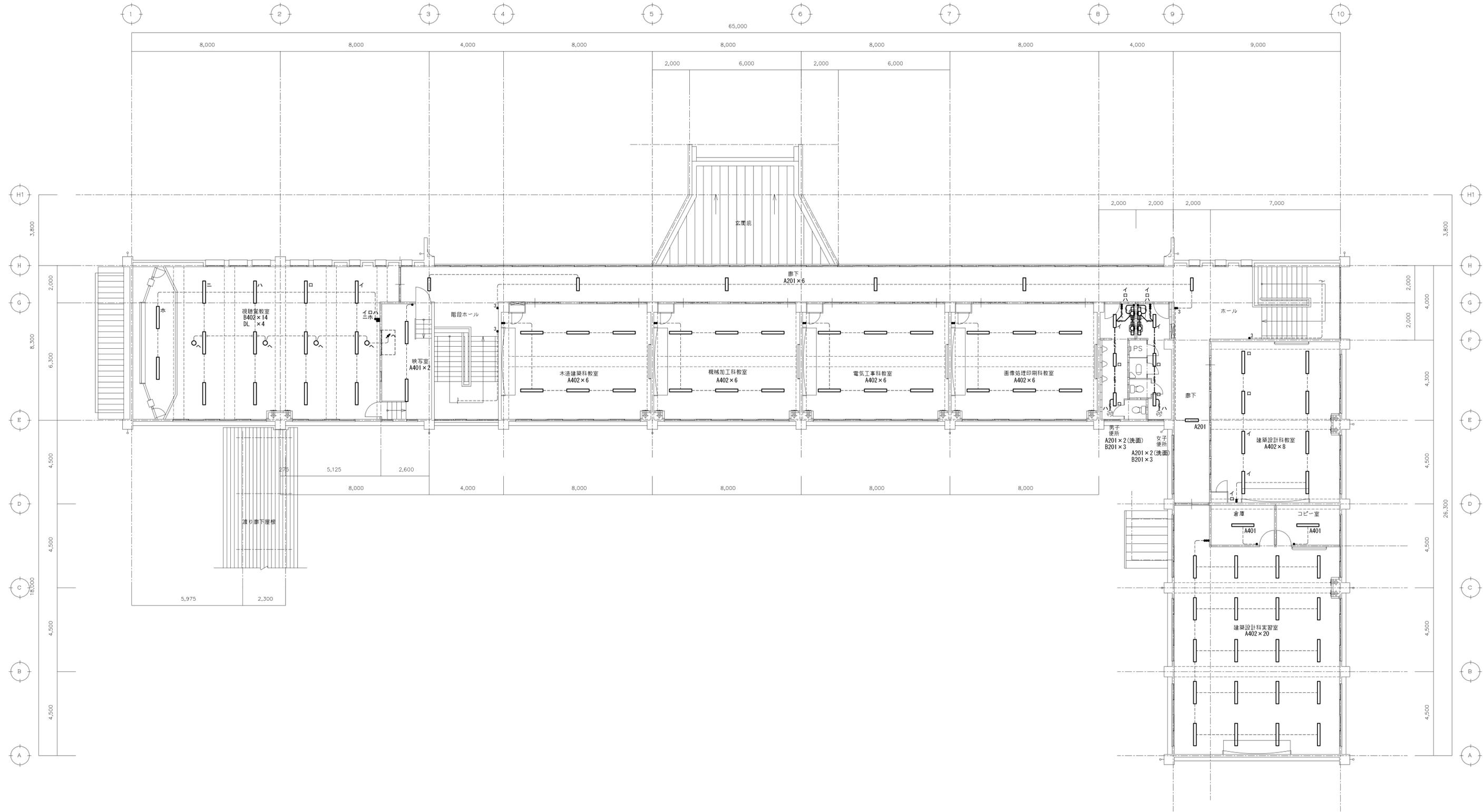
記号	適用	備考			
		屋内 隠蔽	屋内 露出	屋外 露出	地中
---	天井内こしがし配線				立上げ部はP管にて配線保護
EM-EEF 1.6 -2C		-	-	-	
EM-EEF 1.6 -3C		-	-	-	
EM-EEF 1.6 -3C(1線7-ス)		-	-	-	
EM-EEF 1.6 -2C×2(1線7-ス)		-	-	-	
EM-EEF 2.0 -3C(1線7-ス)		-	-	-	

【既存配線器具表】

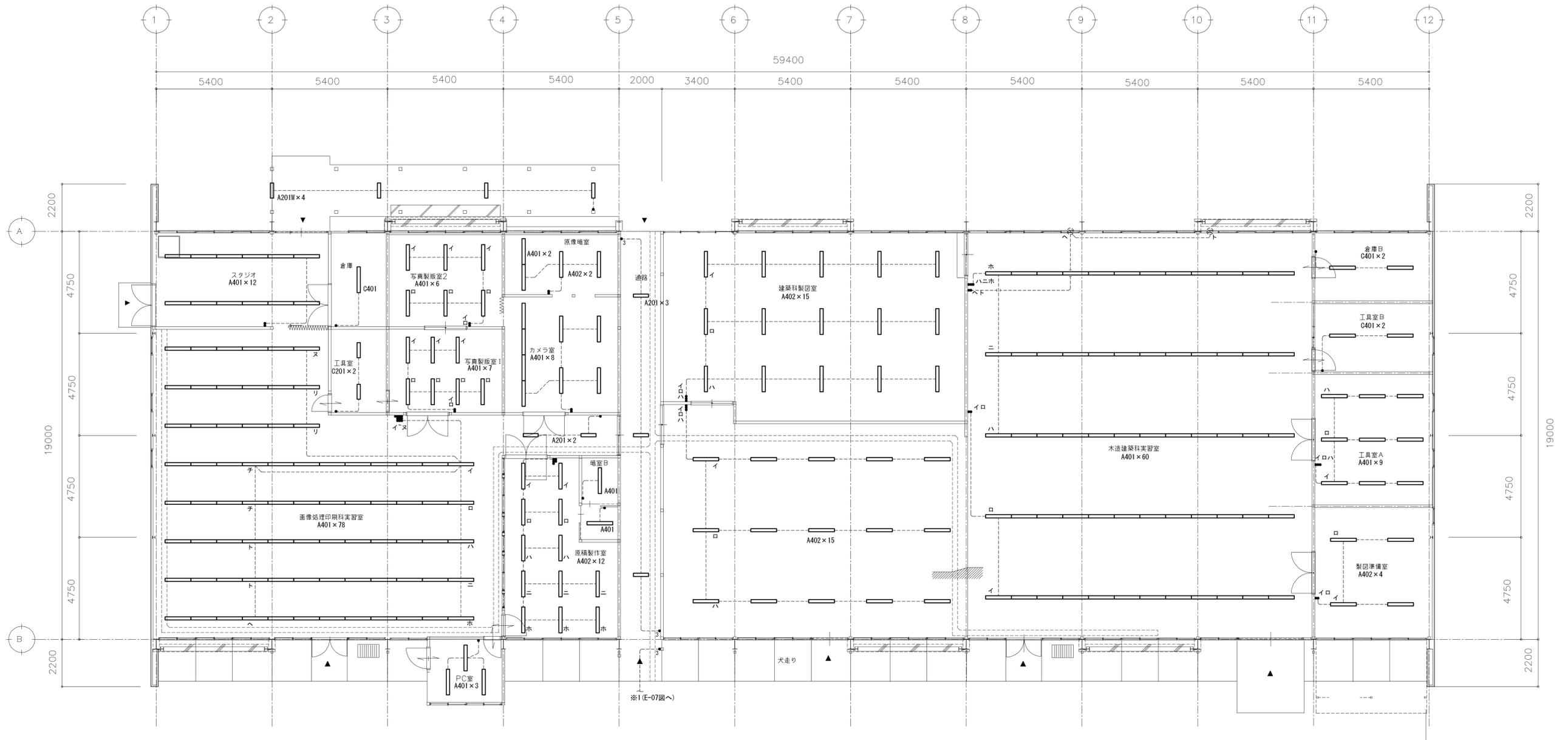
記号	名称	仕様	備考
●	埋込スイッチ	1P 15A × 1	新金アレット共
● L	埋込スイッチ	1P 15A × 1 ON表示灯	新金アレット共
● 3	埋込スイッチ	3W 15A × 1	新金アレット共
● 4	埋込スイッチ	4W 15A × 1	新金アレット共

- 図示の照明器具、配線器具、配線は全て撤去とする。
- 点線表記の分電盤及び配線は既存を示すものとし、改修対象外とする。

管理棟 1階平面図

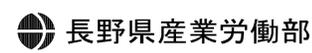


管理棟 2階平面図

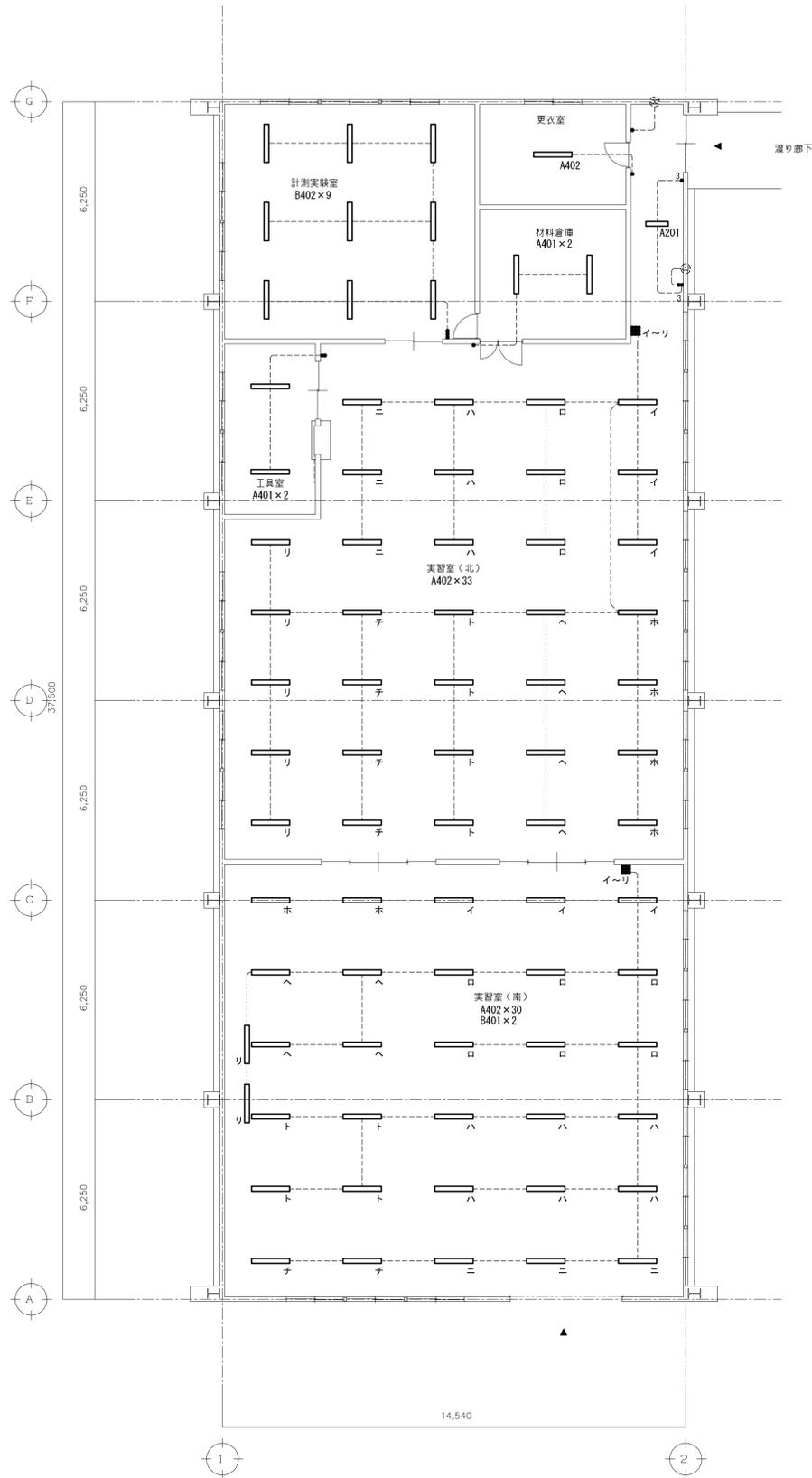


画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 平面図

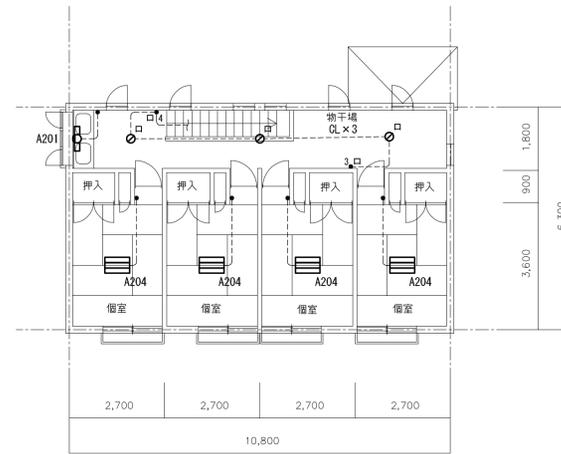
SPACE CREATION SEKI	特記事項



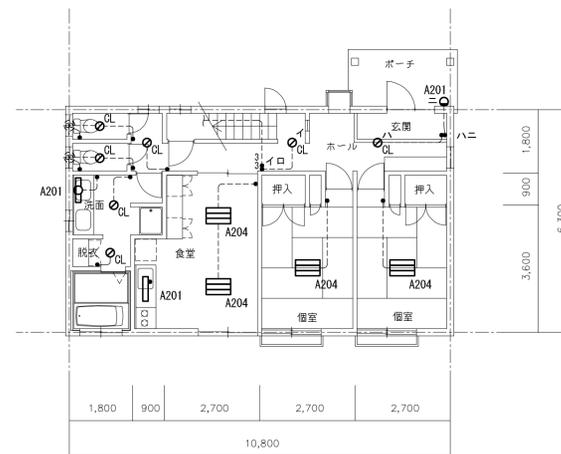
日付	名称	図名	縮尺
	長野技術専門学校 照明設備改修工事	画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 電灯設備 平面図 (撤去)	A1:1/100 A3:1/200
	関建築+まち研究室 SPACE CREATION SEKI	CHECK	図番
		DRAW	E-05



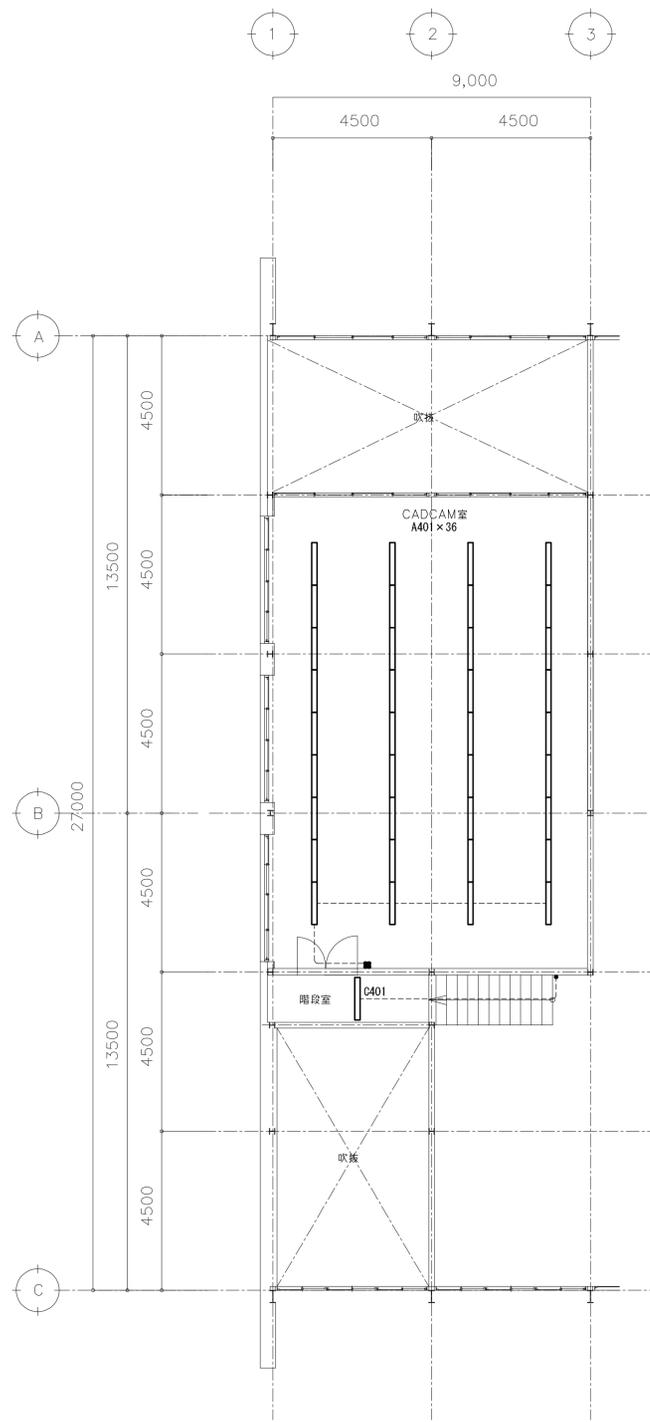
電気工事科実習棟 平面図



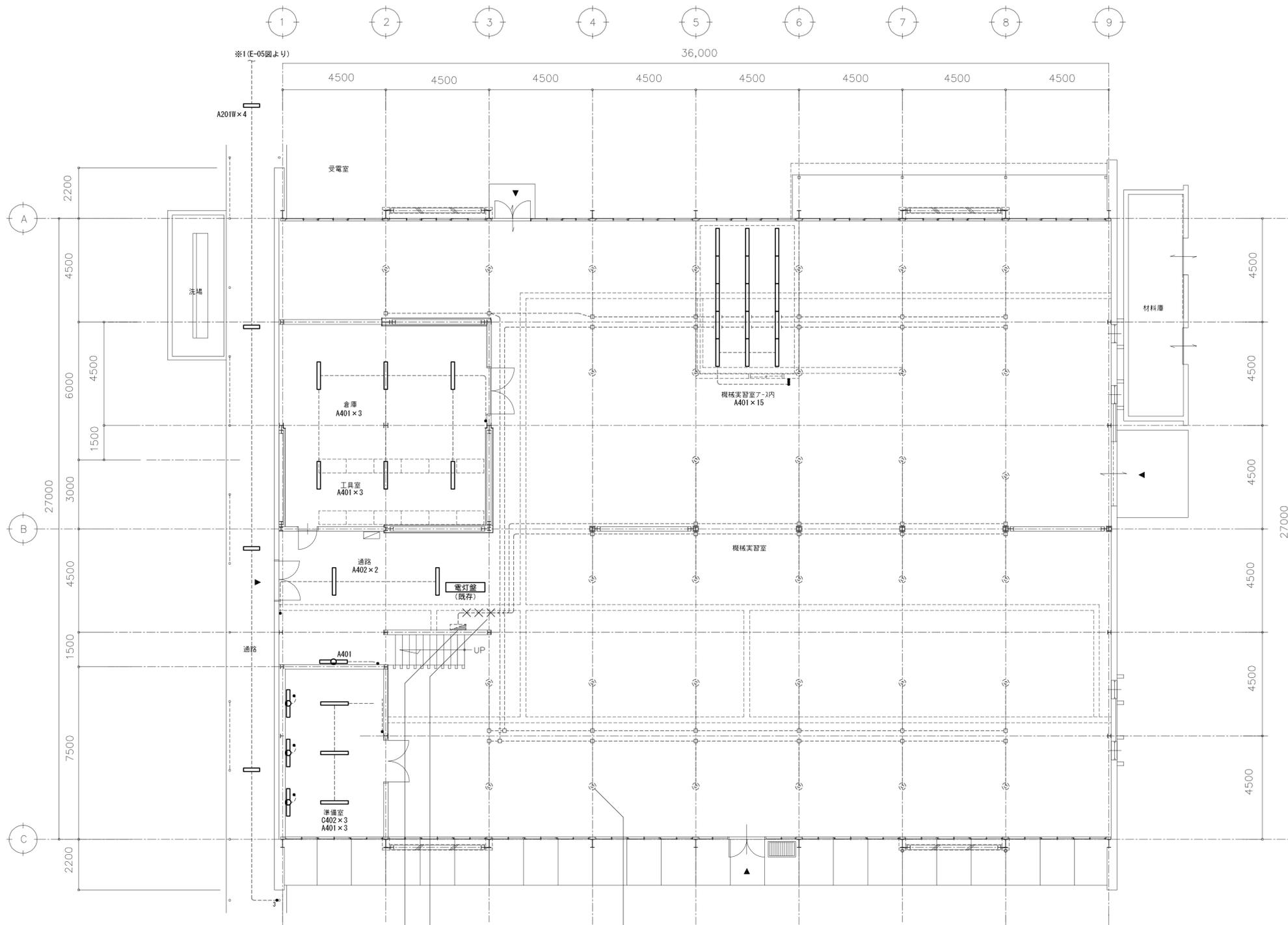
寄宿舎棟 2階平面図



寄宿舎棟 1階平面図



機械実習棟 2階平面図



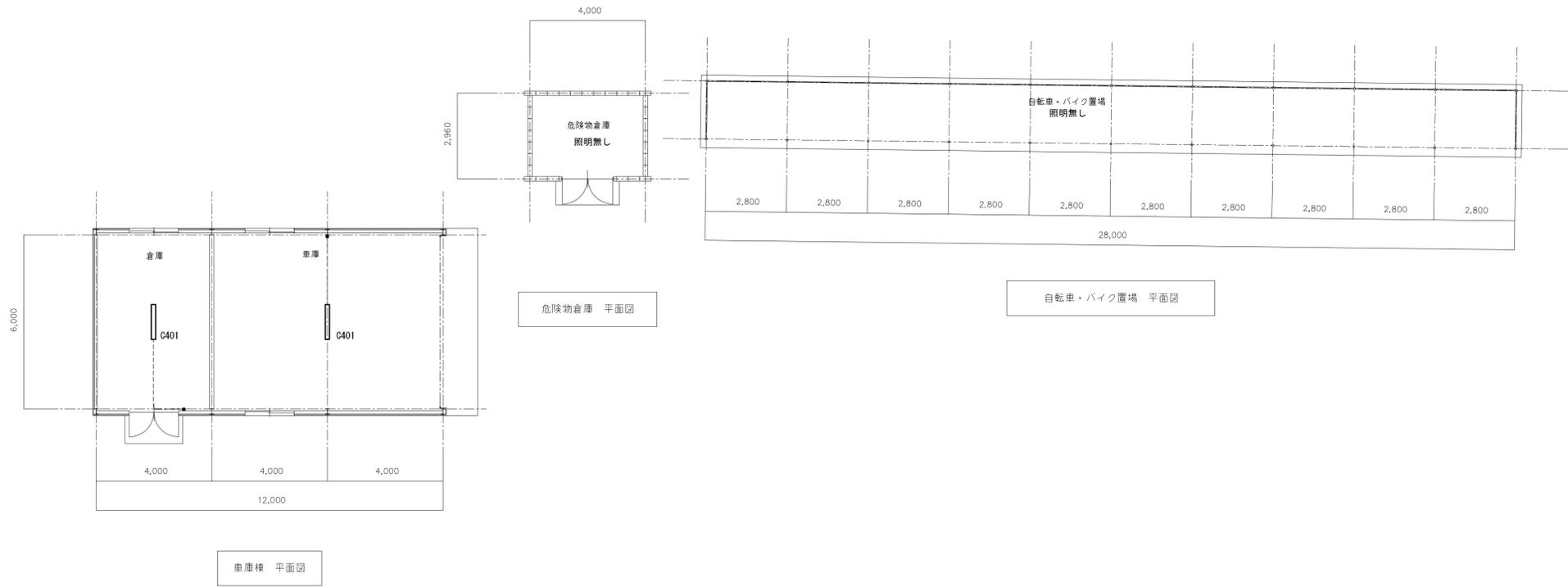
機械実習棟 1階平面図

機械実習室照明用LED器具なし
現状は分電盤内アレイにて操作

機械実習室内LED照明器具は
改修対象外とする

VVF 2.0-3C E(19) x 6
天井より分電盤までを撤去

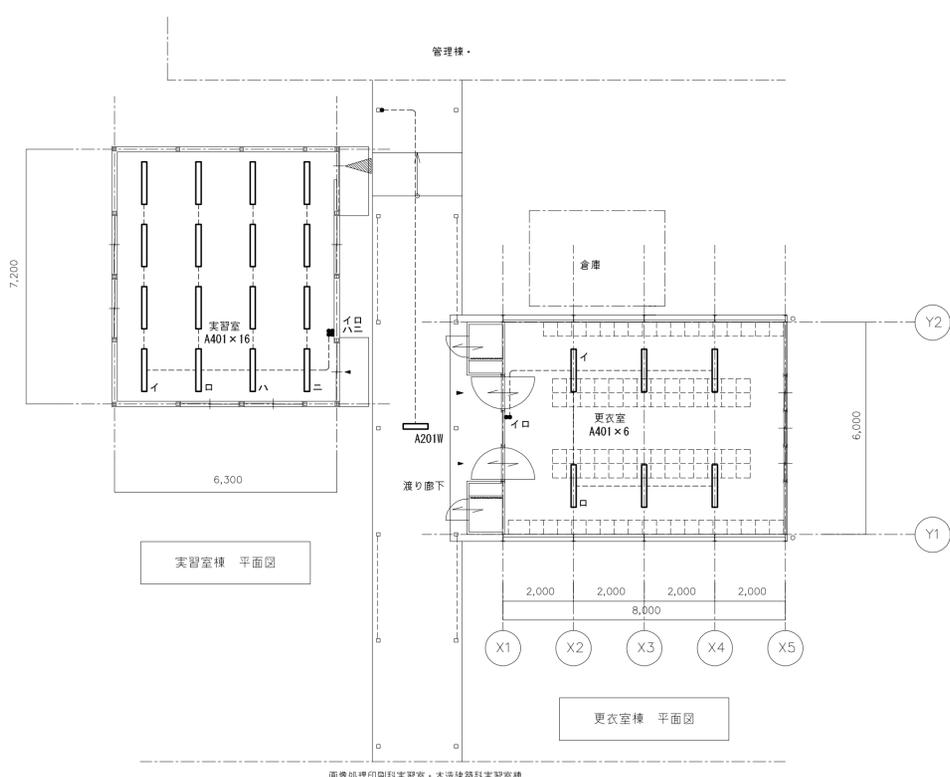
SPACE CREATION SEKI	特記事項	 長野県産業労働部	日付	名称	図名	縮尺
			長野技術専門学校 照明設備改修工事 関建築+まち研究室 SPACE CREATION SEKI	CHECK	DRAW	機械実習棟 電灯設備 平面図 (撤去) A1:1/100 A3:1/200 図番 E-07



車庫棟 平面図

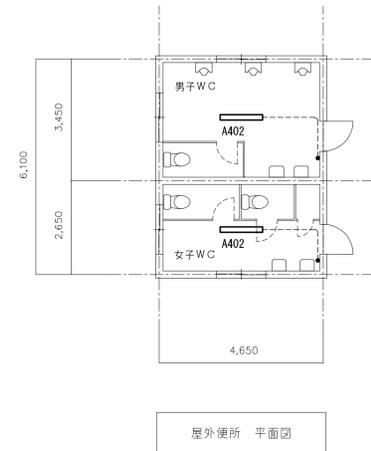
危険物倉庫 平面図

自転車・バイク置場 平面図

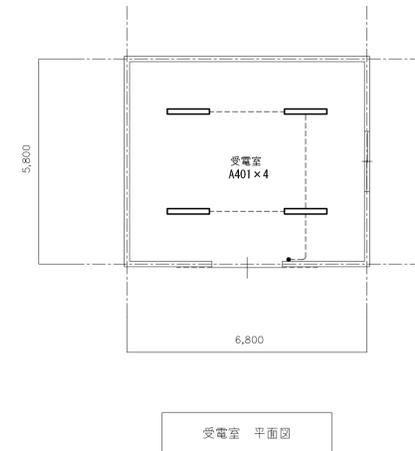


実習室棟 平面図

更衣室棟 平面図



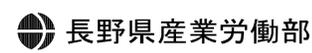
屋外便所 平面図



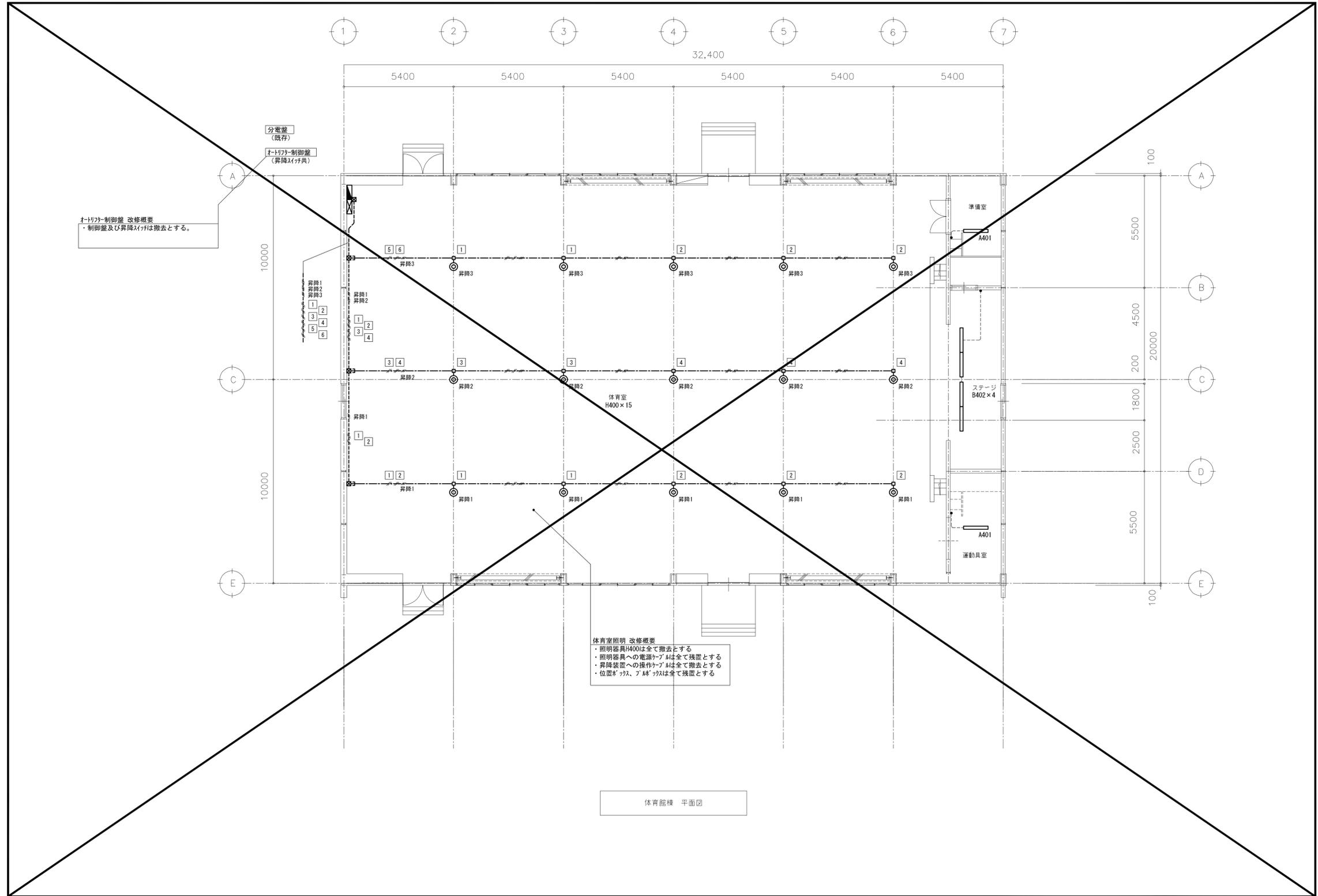
受電室 平面図

画像処理印刷科実習室・木造建築科実習室棟

SPACE CREATION SEKI	特記事項



日付	名称	図名	縮尺
	長野技術専門学校 照明設備改修工事	付属棟 電灯設備 平面図 (撤去)	A1:1/100 A3:1/200
	関建築+まち研究室 SPACE CREATION SEKI	CHECK	図番
		DRAW	E-08



オートリフト制御盤 改修概要
 ・制御盤及び昇降スイッチは撤去とする。

体育室照明 改修概要
 ・照明器具H400は全て撤去とする
 ・照明器具への電源ケーブルは全て残置とする
 ・昇降装置への操作ケーブルは全て撤去とする
 ・位置ボタンス、アースケーブルは全て残置とする

体育館様 平面図

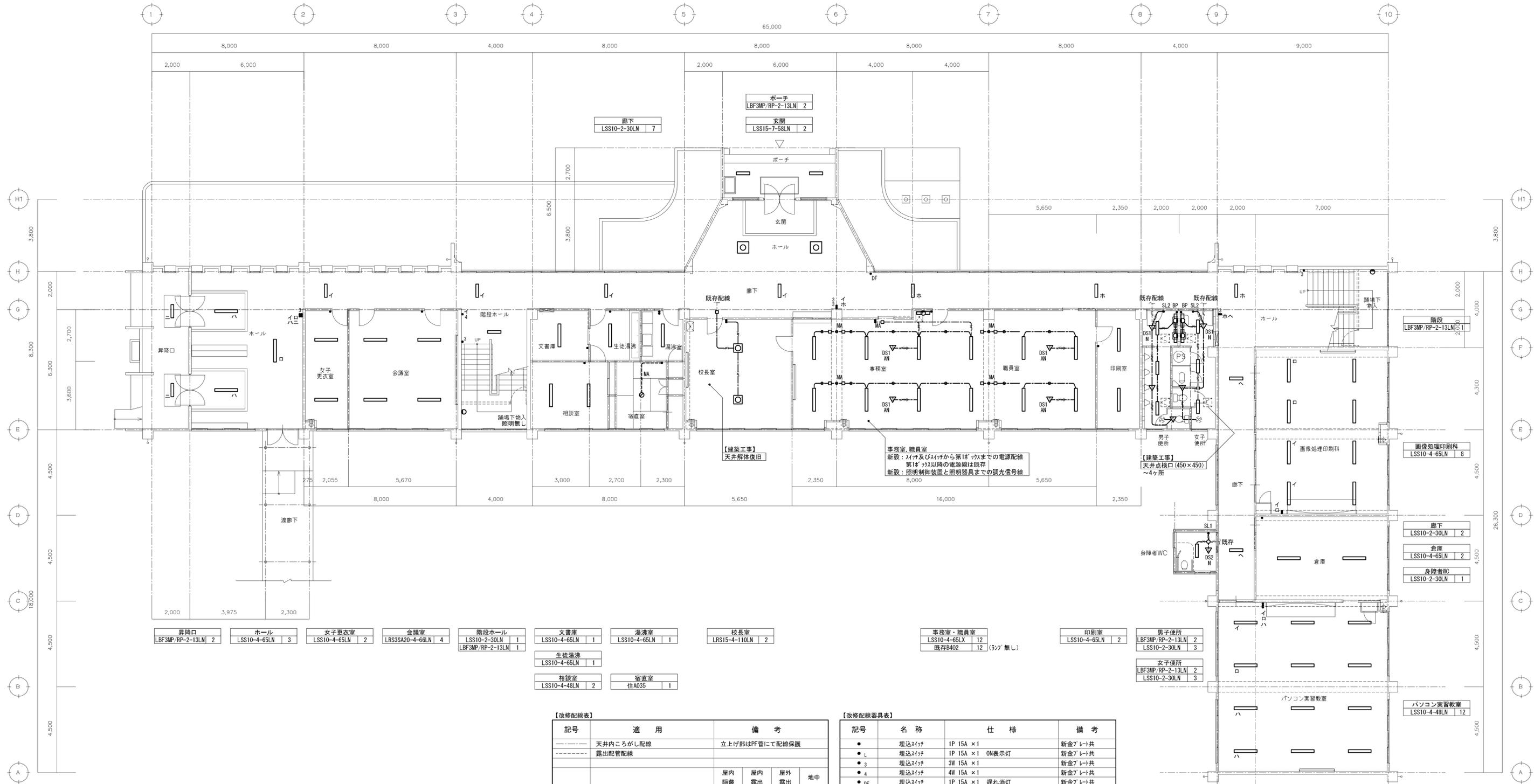
本図は全て将来工事とする

直付LED (トワ型)	直付LED (V型)	埋込LED (下面開放型)	埋込LED (遮光20°)	直付LED (片反射型)	直付LED (700×700)	埋込LED (450×450)	直付LED (トワ型・WP)	直付LED (ｶﾞｰﾌﾞ付・WP)
LSS1-2-30LN LSS1-4-37LN LSS1-4-48LN LSS1-4-65LN	LSS10-2-30LN LSS10-4-23LN LSS10-4-30LN LSS10-4-37LN LSS10-4-48LN LSS10-4-65LN LSS10-4-65LX	LRS3-2-15LN LRS3-2-30LN LRS3-4-37LN LRS3-4-48LN LRS3-4-65LN LRS3-4-65LX	LRS3SA20-4-66LN	LBS5-4-24LN	LSS15-7-58LN	LRS15-4-58LN LRS15-4-110LN	LSS1MP/RP-2-14LN	LBF3MP/RP-2-13LN
直付LED (高天井用) LSR2M-200LJ								
直付LED (反射型)	直付LED (V型)	埋込LED (下面開放型)	直付LED (耐圧防爆型)	リニューアルプレート	LEDｷﾞｰﾙ様・既存ｷﾞｰﾙ様交換		LEDｷﾞｰﾙ様・既存ｷﾞｰﾙ様交換	
A056 10000lm 5000K 56.0W	B056 10000lm 5000K 56.0W	O044 6900lm 5000K 43.1W	D032 2750lm 5000K 31.5W 灯体部保護ｸﾞﾚｰﾄﾞ IP65	E000 埋込穴閉塞用 300W×1250L	F060A 4680lm 5000K 60.0W LED電源ユニット共 右配ｷﾞｰﾙ様交換共		F060B 4680lm 5000K 60.0W LED電源ユニット共 右配ｷﾞｰﾙ様交換共	
本体：銅板製	本体：銅板製	埋込幅(短辺)：300mm以上 本体：銅板製	本体：7A3E ﾊﾞｯﾀﾘ：硬質ｸﾞﾗｽ(透明) ﾊﾞｯﾀﾘ：ｽﾌﾟﾗｲﾄﾞ鋼管	本体：銅板製	ｸﾞｰﾙ：ｷﾞｰﾙ(透明・上部7A3E真空蒸着) 本体：7A3E ｲﾝｽﾄ		ｸﾞｰﾙ：ｷﾞｰﾙ(透明・上部7A3E真空蒸着) 本体：7A3E ｲﾝｽﾄ	
直付LED	直付LED (流し元灯)	埋込LED (ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄ)	直付LED	直付LED (ｶﾞｰﾌﾞ付ﾌﾗｯﾄ・WP)				
住A035 4299lm 6200K 34.1W	住B012 9801lm 5000K 12.0W	住C012 11001lm 5000K 12.0W	住D007 721lm 2700K 7.0W	住E010 9101lm 3000K 10.0W				
ｶﾞｰﾌﾞ：乳白ﾌﾗｯﾄ ﾌﾞﾗｯﾄﾞｲｯﾁ付	ｶﾞｰﾌﾞ：乳白ﾌﾗｯﾄ 壁・天井兼用 ｺﾝﾛｰﾙ付	ｶﾞｰﾌﾞ：乳白ﾌﾗｯﾄ ｺﾝﾛｰﾙ付	ｷﾞｰﾄﾞ：ｸﾞﾗｽ(つや消し)	本体：ｽﾌﾟﾗｲﾄ ｶﾞｰﾌﾞ：ｸﾞﾗｽ(乳白)				

盤名称 盤形式 幹線番号	電気方式 主開閉器 合計容量	回路 番号	電圧 (V)	分岐開閉器			負荷名称	容量 (VA)	リモ コン	備考
				MCCB ELCB	P	AF/AT				
照明リモ 収容盤1 銅板製 壁掛型	分電盤より AC 1φ2W 200V		200				リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
	盤面にリモコンスイッチ 9L								伝送ユニット ×1 リモコン/U ×3 リモコントランス ×1	

盤名称 盤形式 幹線番号	電気方式 主開閉器 合計容量	回路 番号	電圧 (V)	分岐開閉器			負荷名称	容量 (VA)	リモ コン	備考
				MCCB ELCB	P	AF/AT				
照明リモ 収容盤2 銅板製 壁掛型	分電盤より AC 1φ2W 200V		200				リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
							リモコンリレー 2P20A			分電盤へ
	盤面にリモコンスイッチ 6L								伝送ユニット ×1 リモコン/U ×2 リモコントランス ×1	

照明リモコン収容盤2は全て将来工事とする



昇降口 LBF3MP/RP-2-13LN 2	ホール LSS10-4-65LN 3	女子更衣室 LSS10-4-65LN 2	会議室 LRSSA20-4-66LN 4	階段ホール LSS10-2-30LN 1 LBF3MP/RP-2-13LN 1	文書庫 LSS10-4-65LN 1	湯沸室 LSS10-4-65LN 1	校長室 LRS15-4-110LN 2	事務室・職員室 LSS10-4-65LN 12 既存B402 12 (ラック無し)	印刷室 LSS10-4-65LN 2	男子便所 LBF3MP/RP-2-13LN 3 LSS10-2-30LN 2	女子便所 LBF3MP/RP-2-13LN 2 LSS10-2-30LN 3	画像処理印刷科 LSS10-4-65LN 8	廊下 LSS10-2-30LN 2	倉庫 LSS10-4-65LN 2	身障者WC LSS10-2-30LN 1	パソコン実習教室 LSS10-4-48LN 12
-----------------------------	-------------------------	---------------------------	---------------------------	---	-------------------------	-------------------------	--------------------------	---	-------------------------	--	--	-----------------------------	------------------------	------------------------	---------------------------	-------------------------------

【改修配線表】

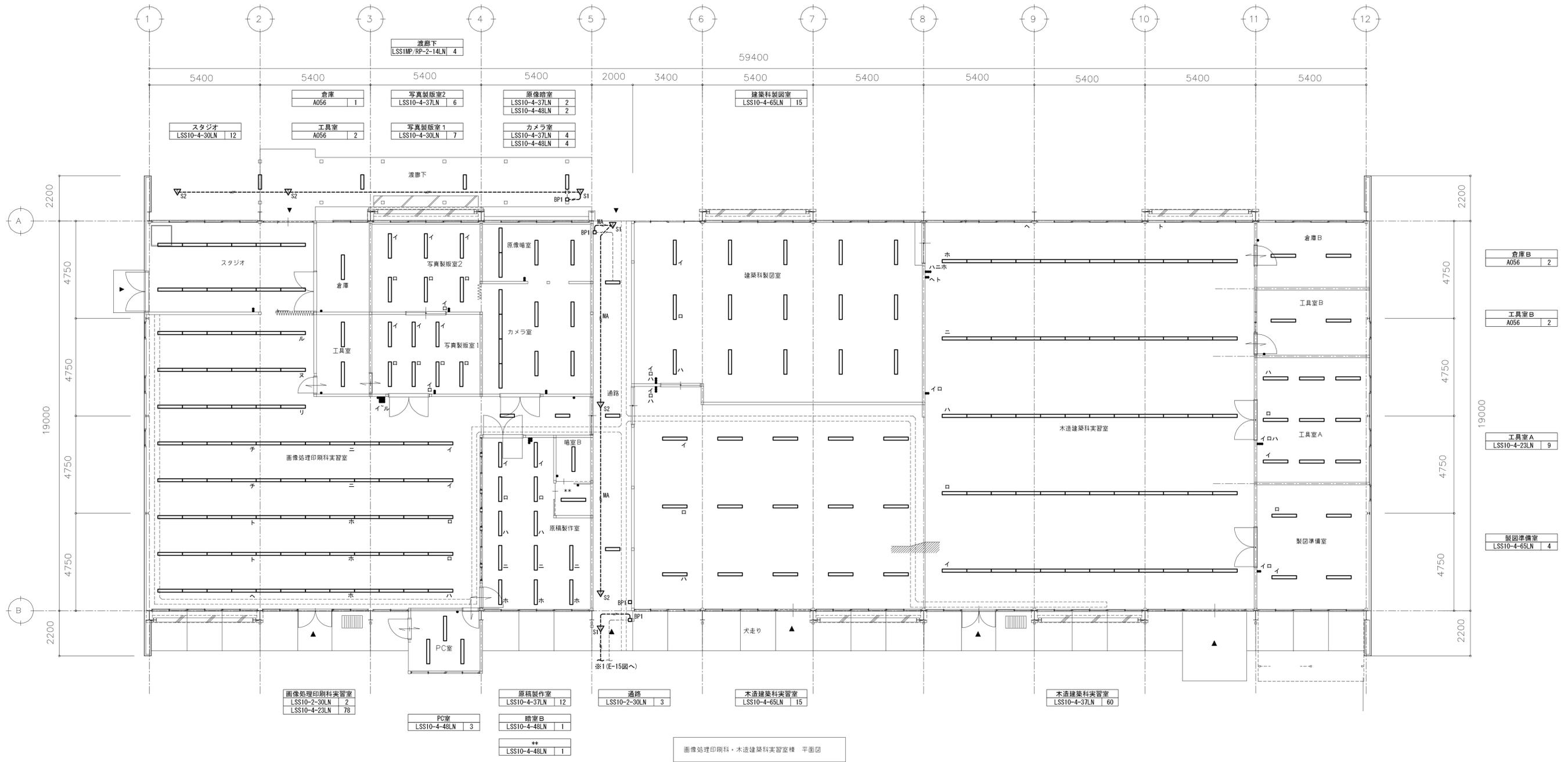
記号	適用	備考			
		屋内 隠蔽	屋内 露出	屋外 露出	地中
---	天井内ころがし配線				立上げ部はPF管にて配線保護
---	露出配管配線				
EM-EEF	EM-EEF 2.0-30(1線7ス)				
EM-FOPEE	EM-FOPEE 1.2-1P				
MA	一種金属線び A型				

注記：空調屋外機の接続部分は金属製可とう管（防水）を使用のこと。

【改修配線器具表】

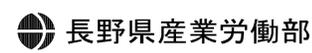
記号	名称	仕様	備考
●	埋込スイッチ	1P 15A × 1	新金プレート共
●L	埋込スイッチ	1P 15A × 1 ON表示灯	新金プレート共
●3	埋込スイッチ	3W 15A × 1	新金プレート共
●4	埋込スイッチ	4W 15A × 1	新金プレート共
●DF	埋込スイッチ	1P 15A × 1 遅れ消灯	新金プレート共
●WP	埋込スイッチ	1P 15A × 1 防水型	新金プレート共
▽AN	照明制御装置	明るさセンサー・連続調光	DS1:埋込, DS2:直付
▽N	照明制御装置	明るさセンサー・換気扇連動	DS1:埋込, DS2:直付
▽S1	同上子機	埋込型	
▽S2	同上子機	直付型	
●SL1	同上操作スイッチ	1回路用・切-自動-連続	新金プレート共
●SL2	同上操作スイッチ	2回路用・切-自動-連続	新金プレート共
■	調光スイッチ	WPM方式	新金プレート共
●BP1	ブラケット	配線器具 1ヶ用	新金プレート
○BP125	ブラケット	ダクトライト 125φ用	樹脂
■	既存RC新り	口徑-コンクリート厚	
★	防火区画貫通処理	ケーブル貫通 (耐火ブロック)	
□	アース	アース寸法表参照	
□MA	ジャンクションボックス	MMA用	

管理棟 1階平面図

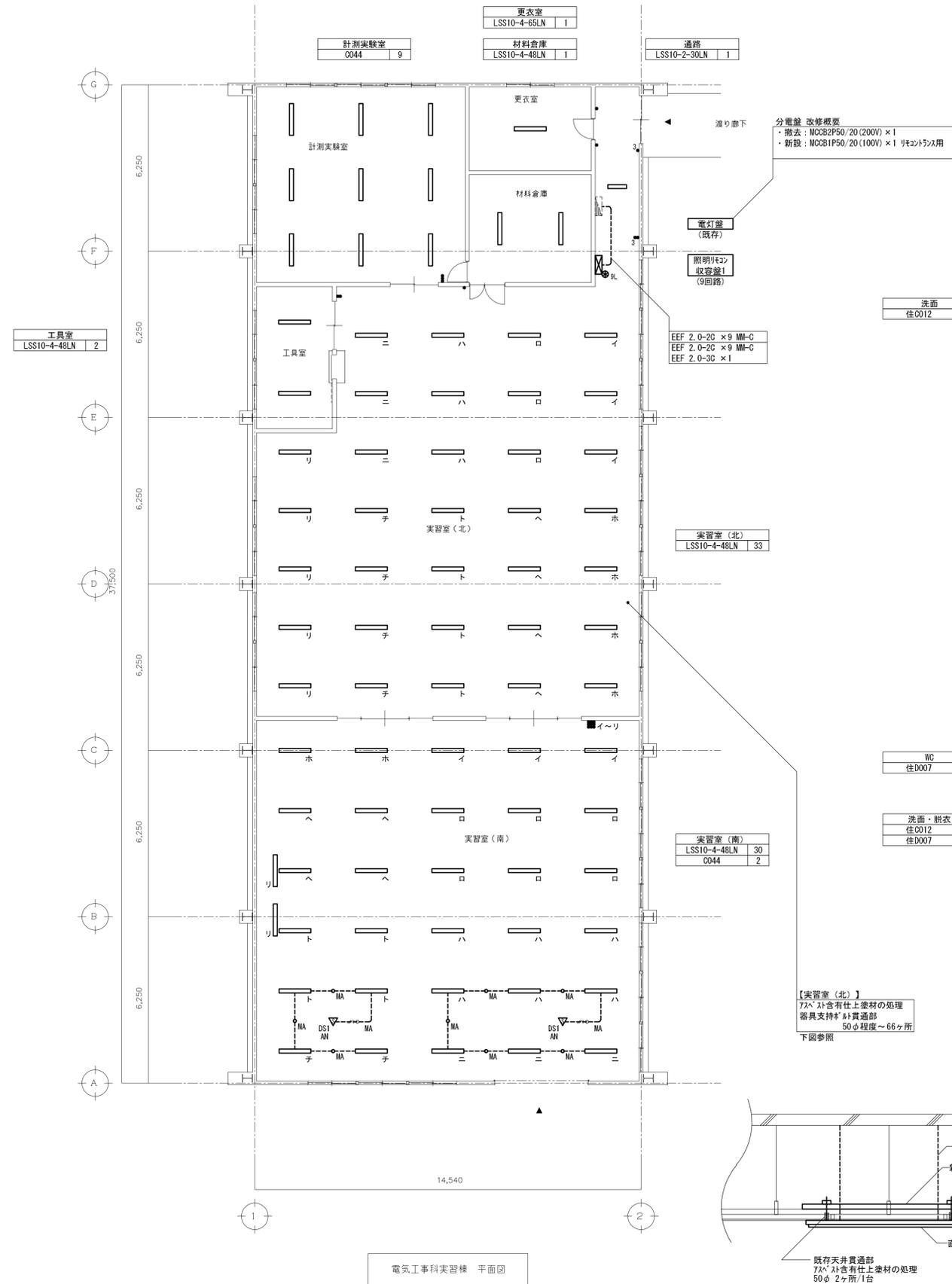


特記事項

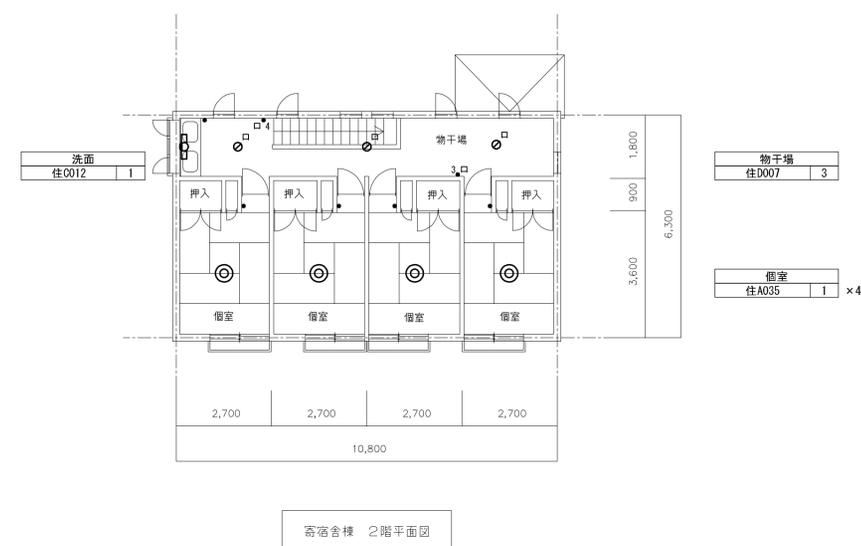
SPACE CREATION
SEKI



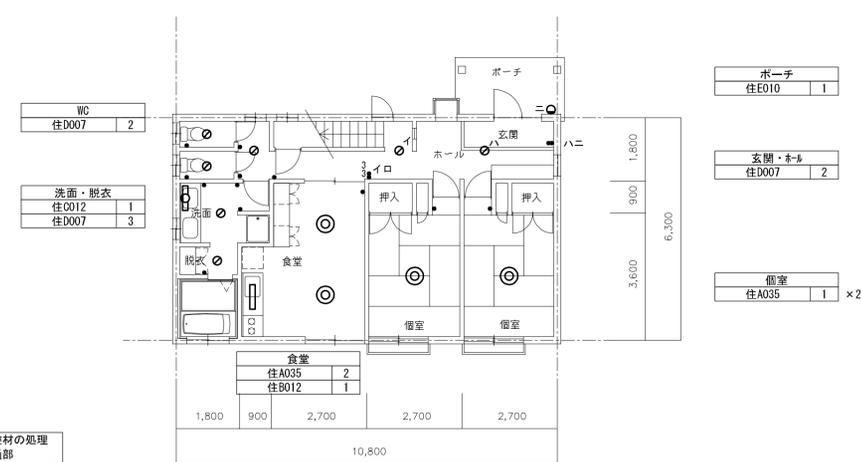
日付	名称	図名	縮尺
	長野技術専門学校 照明設備改修工事	画像処理印刷科・木造建築科実習室棟 電灯設備 平面図 (改修後)	A1:1/100 A3:1/200
	関建築+まち研究室 SPACE CREATION SEKI	CHECK	図番 E-13
		DRAW	



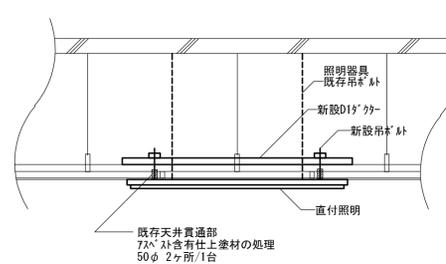
電気工事科実習棟 平面図



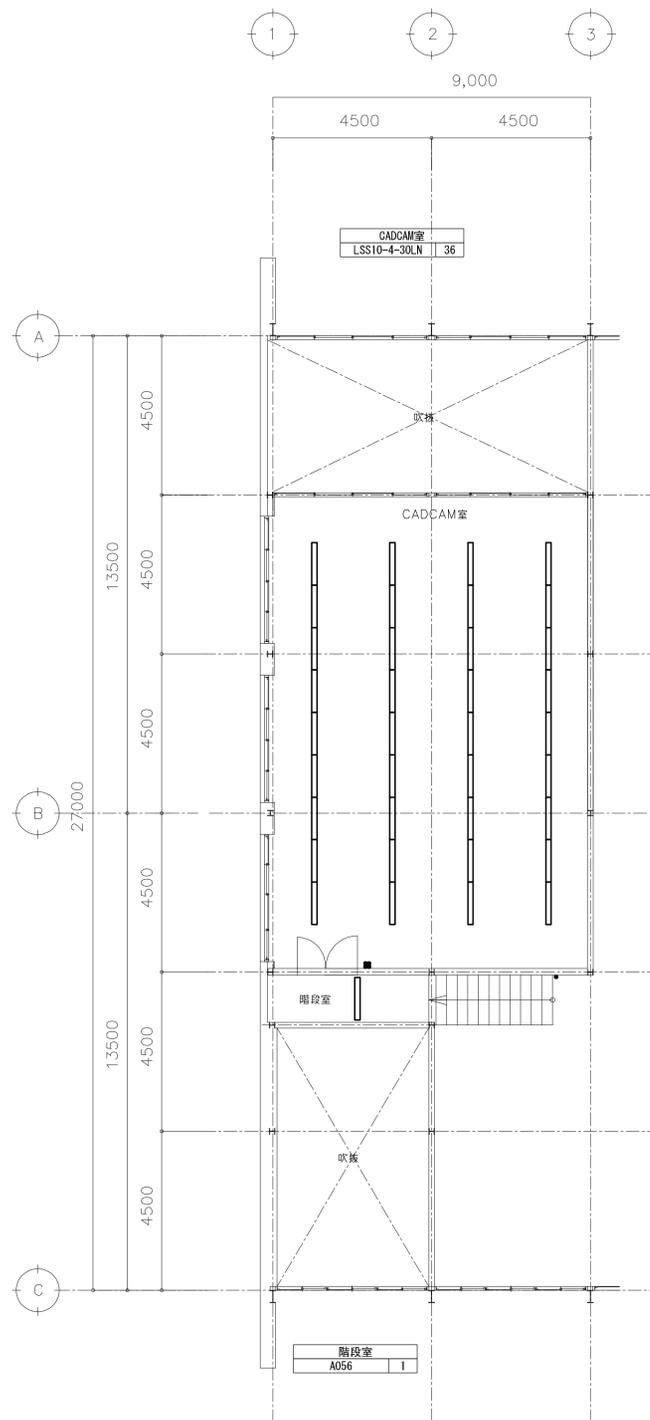
寄宿舎棟 2階平面図



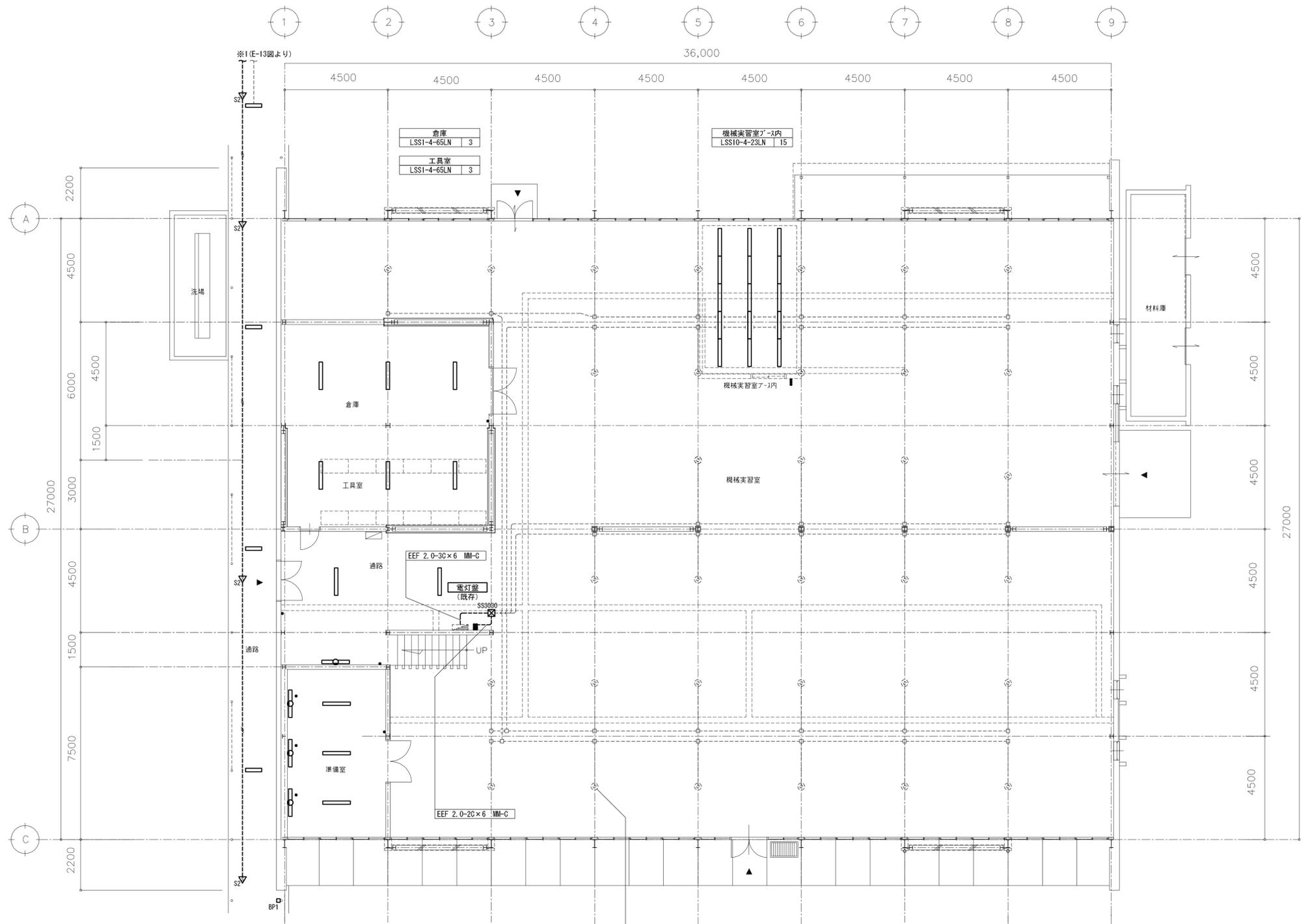
寄宿舎棟 1階平面図



既存天井貫通部
75φ 1台含有仕上塗材の処理
50φ 2ヶ所/1台



機械実習棟 2階平面図



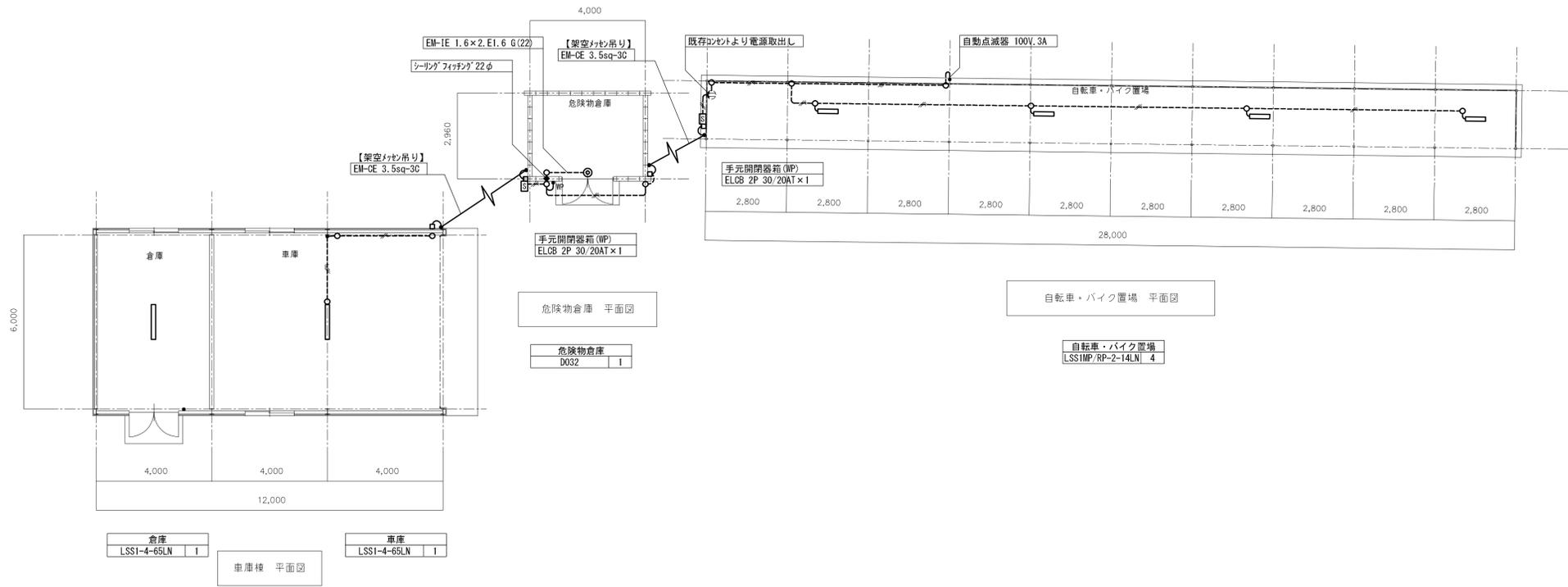
機械実習棟 1階平面図

通路	
LSS1MP/ RP-2-14LN	4

通路	
LSS10-4-65LN	2
LBS5-4-24LN	1

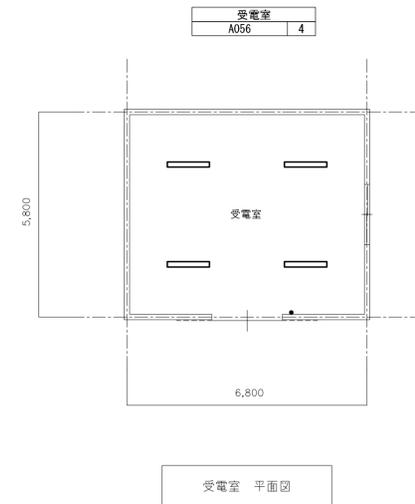
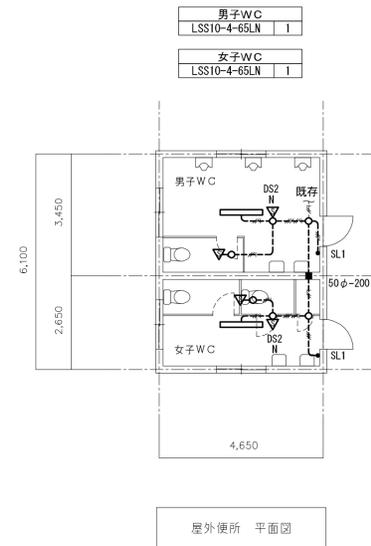
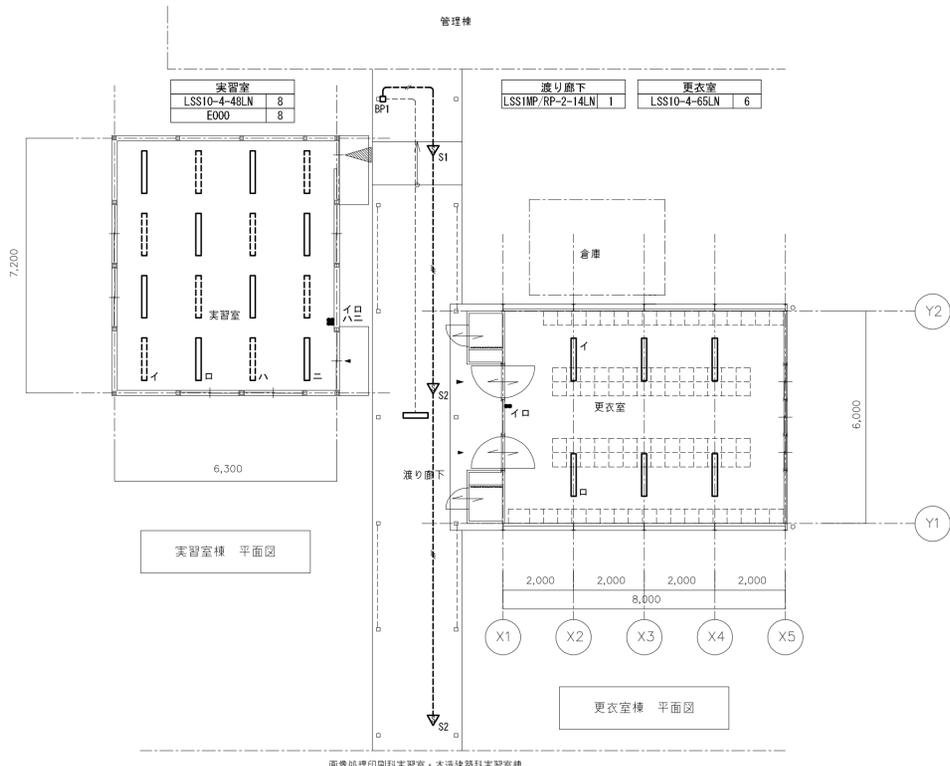
準備室	
B056	3
LBS5-4-24LN	3

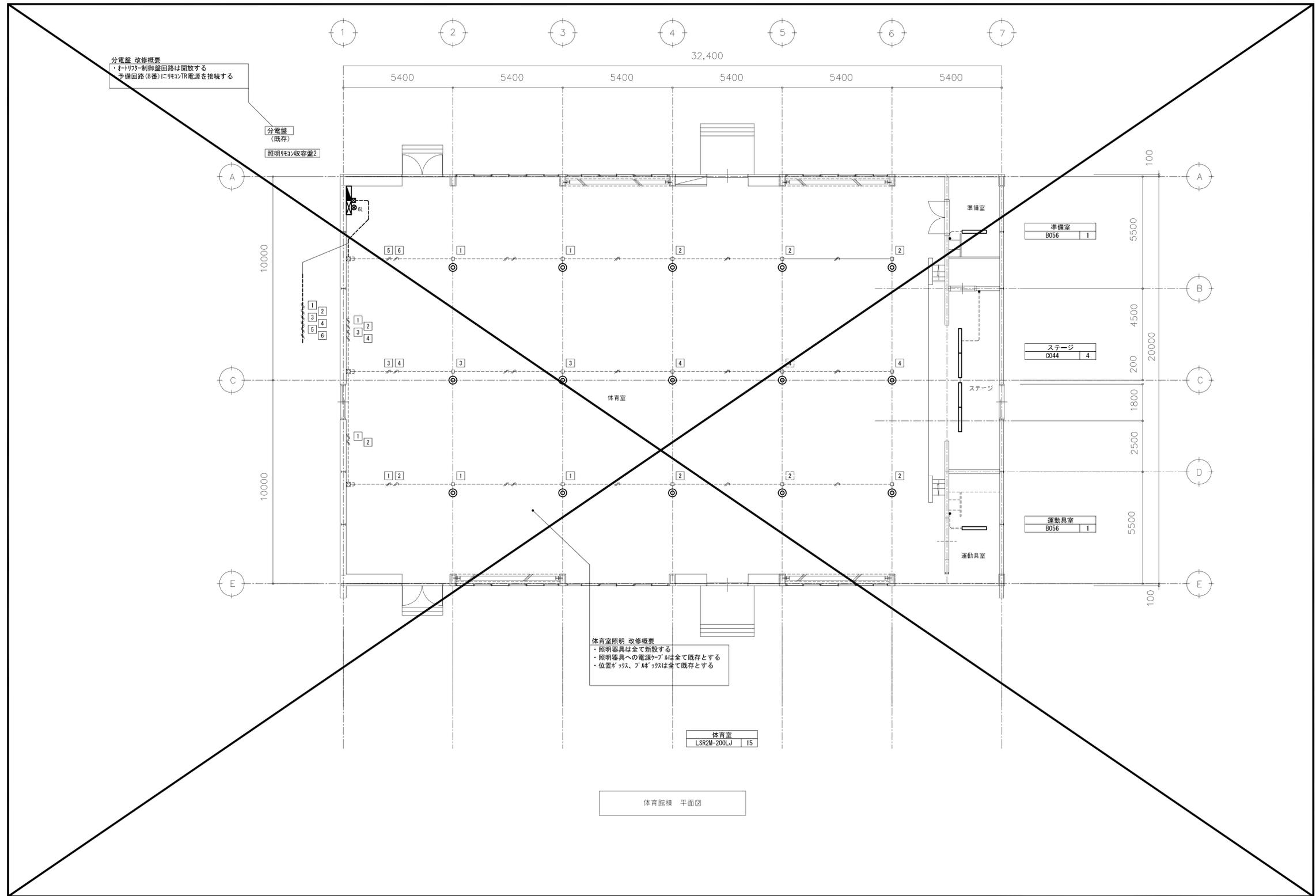
機械実習室内LED照明器具は
改修対象外とする



倉庫	LSS1-4-65LN	1
車庫	LSS1-4-65LN	1

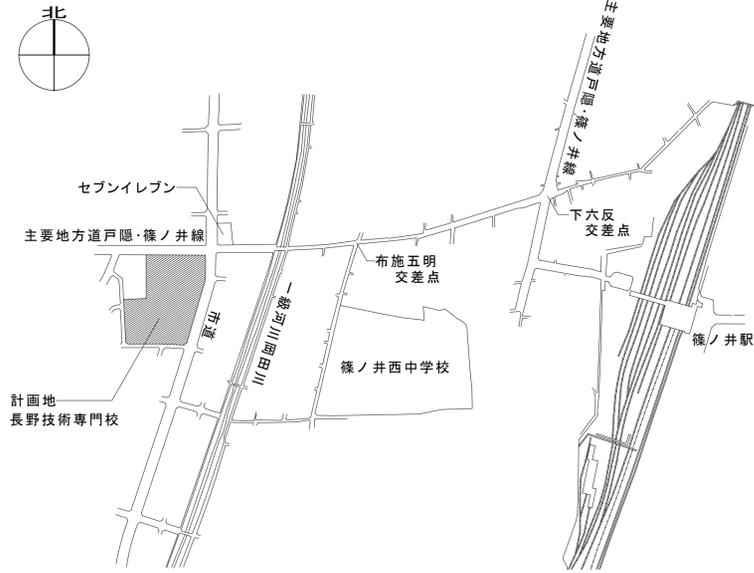
車庫棟 平面図



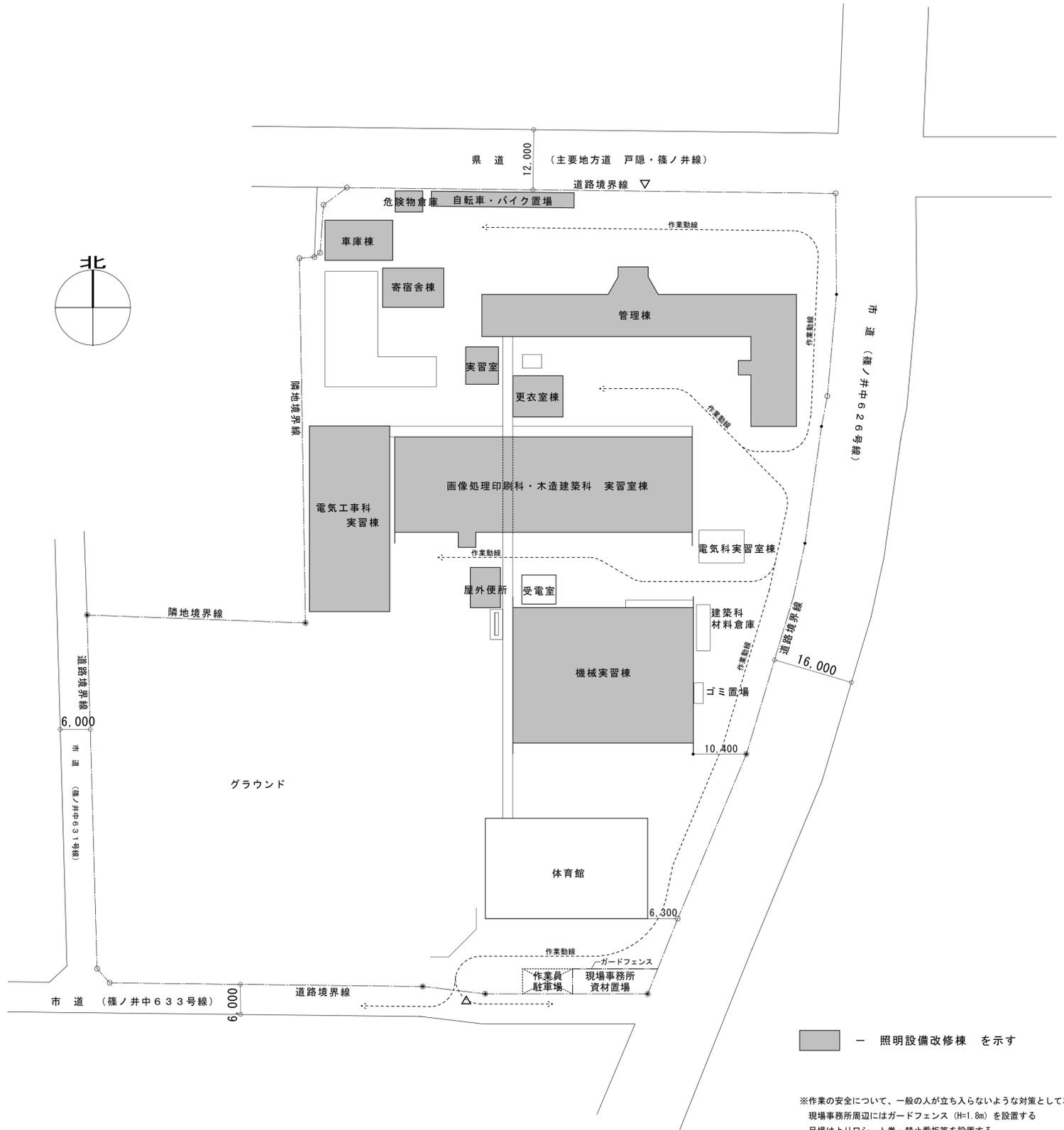


本図は全て将来工事とする

案 内 図



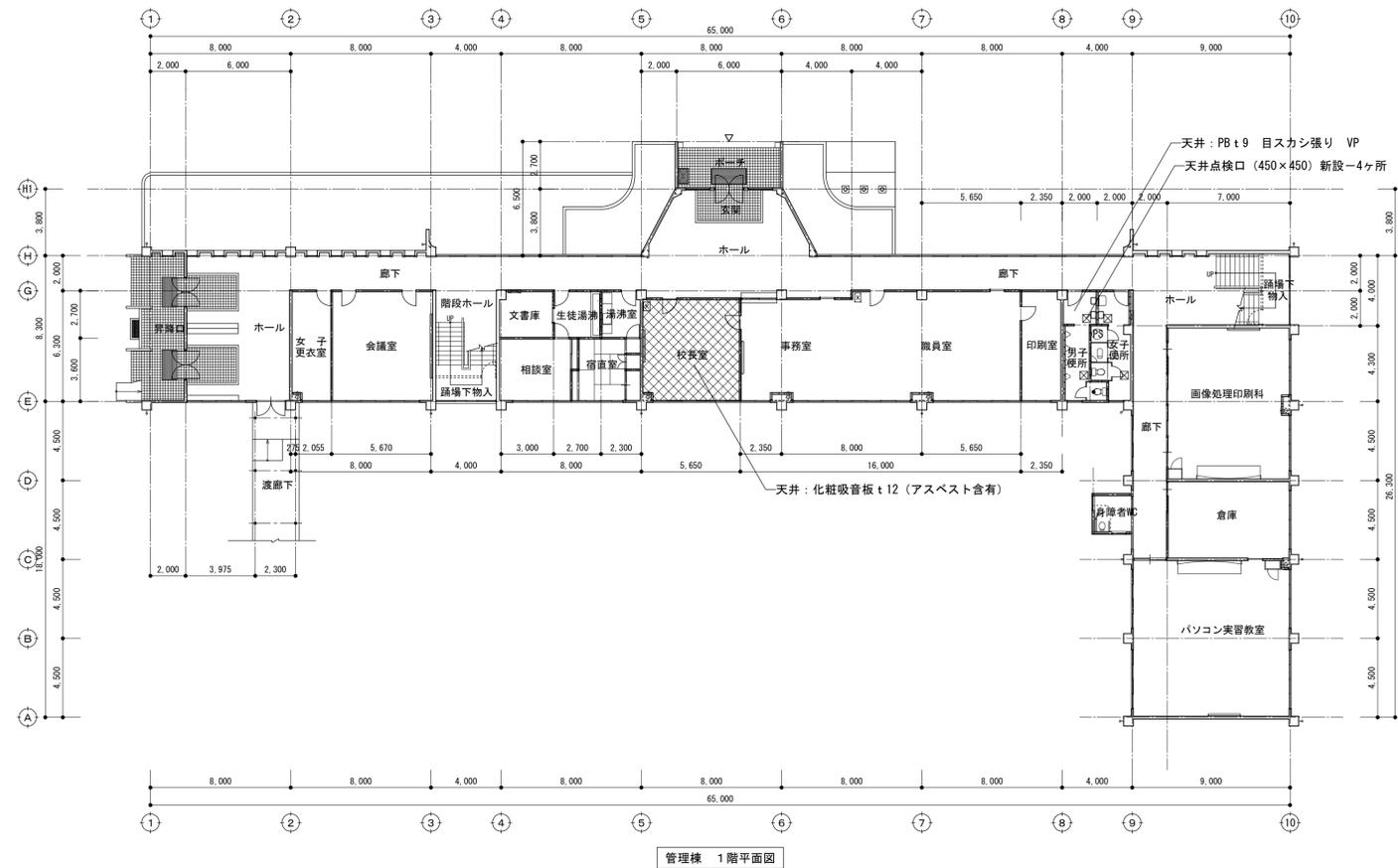
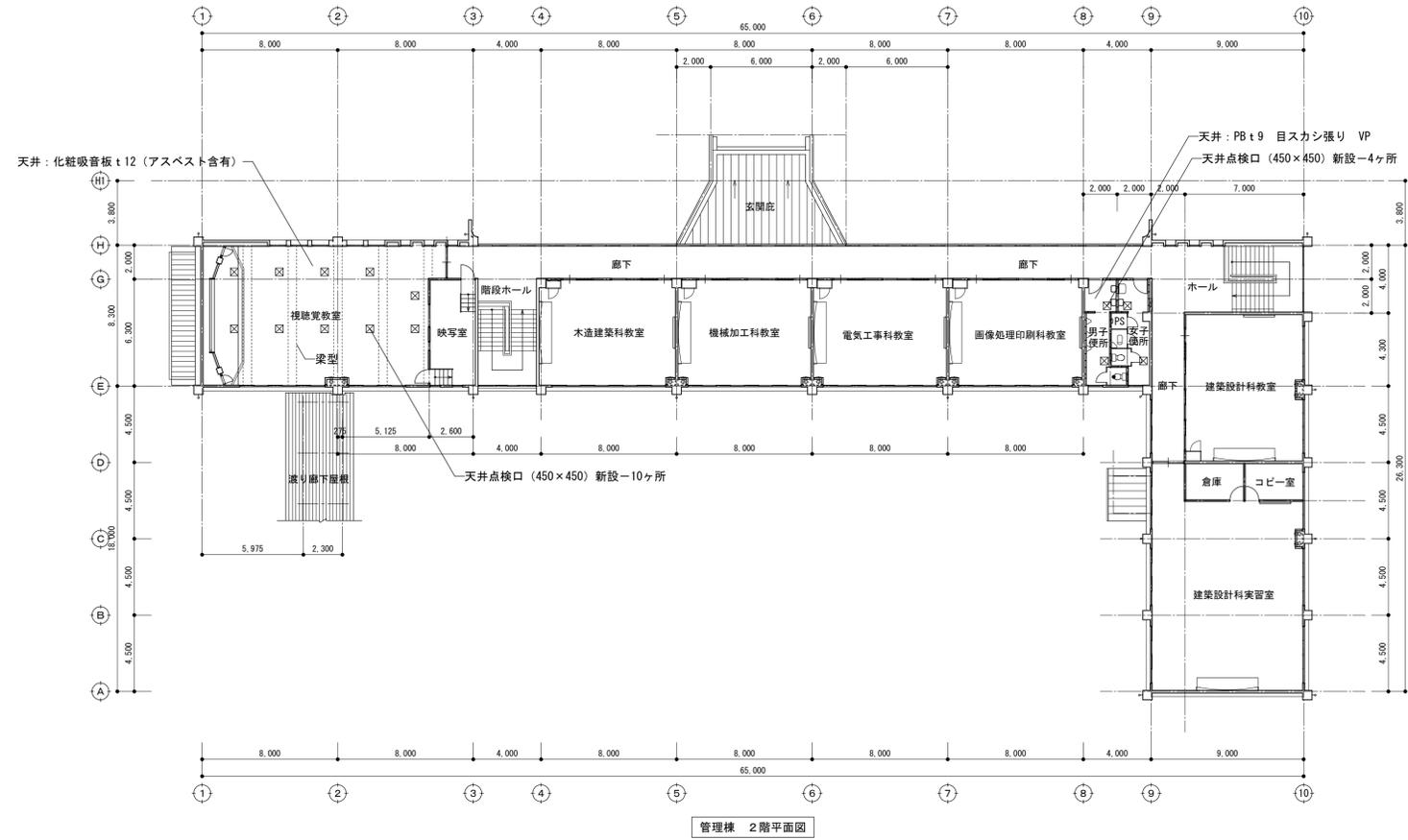
面積表	
管理棟	1,427 m ²
画像処理印刷科・木造建築科 実習室棟	1,138 m ²
電気工事科 実習棟	545 m ²
機械実習棟	1,100 m ²
体育館	651 m ²
寄宿舎棟	136 m ²
車庫棟	72 m ²
危険物倉庫	12 m ²
自転車・バイク置場	56 m ²
更衣室棟	51 m ²
屋外便所	29 m ²
実習棟	45 m ²



配置図 1/500

■ 照明設備改修棟 を示す

※作業の安全について、一般の人が立ち入らないような対策として次の対策等を行う
 現場事務所周辺にはガードフェンス (H=1.8m) を設置する
 足場は上りシート巻・禁止看板等を設置する
 屋内作業範囲は立入禁止とし、A型バリケード又はコーンによる区画を行う
 工事は原則休日に行う事とする (ただし、施設管理者の了解を得た場合を除く)
 機材の運搬時などは十分な打合せを行い、時間帯の調整を行う事



☒ 一天井改修範囲：天井仕上材撤去、新規 吸音板 t12張り (直張り)

☒ 一天井点検口 (450×450)